

2027年度 乳腺外科専門医申請のご案内（救済措置）

新専門医制度に基づく暫定救済措置 ※2028年の申請をもって終了

本申請は、サブスペシャルティ領域カリキュラム制導入の遅延により新専門医制度への参加が遅れた方への救済措置として、2018年、2019年、2020年4月に外科学会の研修プログラムを開始した方を対象に、外科プログラム2年目から乳腺外科専門医研修カリキュラムを開始したものとして申請を受け付けるものです。カリキュラムへの登録の有無にかかわらず申請可能です。

なお、専門医試験に合格された場合は2027年1月より乳癌学会の乳腺専門医に認定されます。今後日本専門医機構の審査を通過した場合は乳腺外科専門医として認定される予定です。現状では、時期や審査方法等決まっておきませんので、決定次第お知らせいたします。

I.乳腺外科専門医新規申請資格

- (1) 日本国の医師免許証を有していること。
- (2) 申請時点で日本乳癌学会に入会しており、会費を完納していること（2026年度の会費まで）。
- (3) 2018年、2019年、2020年4月に外科学会の研修プログラムを開始しており、外科専門医を取得済みであること。
- (4) 乳腺外科専門医研修カリキュラムの基幹施設および連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは日本乳癌学会が認定した認定施設および関連施設（以下、認定・関連施設）において所定の研修カリキュラムに従い、常勤で外科プログラム2年目の4月以降、通算3年以上修練を行っていること。
※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書(書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと。)が必要。
- (5) 基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における常勤での術者としての乳癌経験症例が、外科プログラム開始以降100例以上あること。

※ (4) (5) については次ページの表もご参照ください。

外科プログラム開始時期	2018年4月	2019年4月	2020年4月
カリキュラム開始 みなし時期	2019年4月	2020年4月	2021年4月
修練期間 (基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における)	2019年4月以降 3年間	2020年4月以降 3年間	2021年4月以降 3年間
症例数 (基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における)	2018年4月以降 100症例以上	2019年4月以降 100症例以上	2020年4月以降 100症例以上

(6) 学術発表：査読を伴う全国規模の学会（乳癌学会地方会は可）で、筆頭者として2件以上乳癌疾患に関する発表をしていること（ただし、日本乳癌学会学術総会もしくは国際学会の場合は1件でも可）。

(7) 論文発表：査読を伴う学術雑誌に筆頭者として、乳癌疾患についての、原著あるいは症例報告として1編以上の論文発表を行っていること。

* (6) (7) について、業績として認められるかは最終的に専門医制度委員会・認定委員会での判断となる。

(8) 日本乳癌学会が主催する2023年度以降の乳癌専門医・認定医セミナーの受講証明があること（2023年4月1日以降発行の受講証明書）。

II.申請期間

2026年5月1日～2026年7月31日23:59

申請書類は会員ページ（以下、MyWeb）よりデータにて提出してください（郵送不可）。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III.申請書類

作成にあたっての注意事項

・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります

- ・記入欄が不足している場合は、適宜追加してください。
- ・Excelで提出するものとPDFで提出するものがあります（Ⅷ.チェックリスト参照）。
- ・審査員が見やすいように提出してください（不鮮明なもの不可）。
- ・指定のファイル名（Ⅷ.チェックリスト参照）で提出してください。

① 乳腺外科専門医救済措置新規申請書

・まず始めに、MyWeb の会員情報のアップデート、NCD 症例の提出（「⑤症例の提出について」参照）を行ってください。

※MyWeb に「携帯番号」の登録がない場合は、ご登録ください。試験当日の緊急連絡先としても使用します。

・申請書は MyWeb の「資格情報確認・申請」 から申請に進んでいただき、ダウンロードしてください。MyWeb の会員情報が反映されます。

※ダウンロードできる申請書のフォームが変わるため、必ずどの資格を申請するか先に選択をしてから申請書をダウンロードしてください。

MyWeb <https://jbcs.members-web.com/login>

・ダウンロードをした申請書に必要な箇所をご入力ください。

② 乳腺外科専門医新規 実績日録

「2.診療経験(参考)」は参考として入力してください。

③ 学術活動一覧

【学術発表】

査読を伴う全国規模の学会（乳癌学会地方会は可）に、筆頭者として2件以上乳腺疾患に関する発表をしていること（ただし、日本乳癌学会学術総会もしくは国際学会の場合は1件でも可）。

・発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か、会期がわかるページと抄録を添付し、可能であれば、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。

※過去の乳癌学会学術総会の抄録については、MyWeb にて閲覧可。

【論文発表】

査読を伴う学術雑誌に筆頭者として、乳腺疾患についての、原著あるいは症例報告として1編以上の論文発表を行っていること。

・査読システムが認定委員会で確認できないものは不可。

・論文別刷あるいは論文が掲載されている学術雑誌の論文の全文コピー（出典・論文全体の内容がわかるもの）を添付し、可能であれば自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。

・2026年7月31日までに採択の返事を得られている場合には、それを証明できるものを提出すれば認めるが、投稿中であっても2026年7月31日までに採択の返事を得られていない場合には業績として認められない。なお、掲載予定の論文は論文原稿に掲載証明書（アクセプトメール可）を添付して提出をすること。

④ 基幹・連携施設/認定・関連施設修練修了証明書（施設ごとに1枚提出すること）。

- ・非常勤の場合は常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書(書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと。)を添付。
- ※再申請で内容に変更がない場合、以前提出した修練証明書を代用することは可。

⑤ 症例の提出について

- ・NCD 登録があり、乳癌の確定診断のついた術者としての症例のみ対象（良性・疑いは不可）。
- ・表示専門医「乳腺外科 乳癌登録」にチェックがあるもの。
- ・ステータスが「完了(承認済)」となっているもの。

(術式)

NP0188：乳腺悪性腫瘍手術 2.乳房切除術 腋窩部郭清を伴わないもの

NP0283：皮膚温存乳房全切除術

NP0284：乳頭温存乳房全切除術

NP0285：乳管腺葉区域切除術 ※2019 年以前は OP0022：乳腺腺管腺葉区域切除術

NP0294：乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（内胸、鎖骨上、下窩など郭清併施）

※2022 年以前は OP0032：乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清併施）

NP0295：乳腺悪性腫瘍手術 ラジオ波焼灼術

OP0028：乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）

OP0029：乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）

OP0030：乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴う）（胸筋切除を併施しない）

OP0031：乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴う）（胸筋切除を併施）

※OP0016 や OP0023 等の VAB や CNB の症例は対象外。

<症例の提出方法>

NCD のシステムにログインをしていただき、別途マニュアル「NCD-Person マニュアル」(HP に掲載)に従い、申請前に以下の URL より「提出する」を実施してください。 NCD から事務局へデータが提供され、個々の MyWeb に反映されます。「提出する」を実施いただいてから、MyWeb への反映までには時間がかかりますので、申請を検討されているようでしたら、早めにシステムからの提出をお願いいたします。

NCD-Person： <https://system.ncd.or.jp/member/~jbcs/>

※NCD 検索リストの提出は不要です。

※NCD から提供される手術症例数は、2025 年 12 月分までとなり、2026 年分は提供されません。2026 年分を提出しないと 100 例に満たない場合は、「⑤乳癌症例の診療経験目録 (NCD 登録なし 2026 年 1 月以降の症例)」に 2026 年分のみ記載し、指導責任者の証明*をもらってください。

* 認定施設で乳腺専門医が常勤でない場合のみ施設長の証明 (公印) で代用可。その場合は、専門医番号の記載は不要。

※システム上、申請対象外の期間の症例数も含めて表示されます。(例えば 2018 年 4 月に外科プログラムを開始した場合、対象となるのは 2018 年 4 月以降の症例ですが、2018 年 3 月までの該当症例も含めて表示されます。対象期間の症例数が、100 例に満たない場合は事務局よりご連絡いたします。)

- ⑥ 2023 年以降の乳腺専門医・認定医セミナー受講証明証 (2023 年 4 月 1 日以降発行の受講証明書)
- ⑦ 医師免許証
- ⑧ 臨床研修修了証 (2004 年以降医師免許取得の場合)
- ⑨ 外科専門医認定証
- ⑩ 顔写真 (JPEG,JPG,PNG)

面接時の本人確認に使用いたします。3 ヶ月以内の無帽、正面向、上半身写真、白黒・カラーどちらでも可。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・ 申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること。
- ・ 施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつき合わせ確認が出来るようにしておくこと。

IV. 認定医の同時取得が可能です ※認定医の取得は任意です。

新認定医制度について

2024年度より、乳腺診療の質を日本乳癌学会が保証する認定制度として、新しく生まれ変わり、指導医専門医取得・更新の際に希望されれば、認定医が取得できることとなりました。希望される場合は、MyWebにて申請の際、「認定医の同時取得をご希望の方は、チェックを入れてください。」にチェックをしてください。希望され、合格した場合は乳腺専門医認定料に追加して認定医認定料1万円が必要となります。

乳腺認定医認定期間：2027年4月～2032年3月（乳腺専門医認定期間と異なります。乳腺専門医認定期間：2027年1月～2031年12月）

※別途、認定医申請の申請書・申請料は不要です。

V. 申請料・提出方法

申請料：10,000円

※認定医の同時取得を希望する場合も、別途追加の申請料は不要です。

MyWebより申請書類のアップロードと申請料の支払い（クレジットカードでのお支払いをお勧めしております）をお願いいたします。詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい。Excelのまま提出するものとPDFにするものがありますので、Ⅷ. チェックリストにて事前にご確認ください。受領メールはお送りいたしませんので、MyWebにて申請ステータスが「申請済」になっていることをご確認ください。

なお、既納の申請料は、いかなる理由があっても返却いたしません。

VI. 今後のスケジュール

■8月20日（木）～9月30日（水）学科試験テストセンター予約

- ・テストセンターの予約は受験者ご自身で行っていただきます。予約方法の詳細につきましては、8月初旬にメールにてご案内いたします。
- ・申請書にご入力いただいた「希望する CBT 試験会場(都道府県)」は、受験会場を確約するものではありません。希望する都道府県で、予約可能なテストセンターがない場合は、近隣の都道府県でご予約ください。
- ・テストセンター予約時に、費用は発生いたしません。書類審査通過後、MyWebより受験料をお支払いください。
- ・予約の変更・キャンセルは、マイページより受験日の3日前まで可能です。

- ・「キャンセル」は座席の予約を一部取り消す操作です。受験そのものの予約を取り消すことはできません。受験料支払い後はいかなる理由でも返金はありません。
- ・書類審査通過後、締切りまでに受験料の支払いが確認できない場合は、事務局にて予約をキャンセルいたします。
- ・書類審査が不合格となった場合は、事務局にて予約をキャンセルいたします。この場合キャンセル料は発生いたしません。

■9月中旬(予定) …書類審査結果の通知

MyWebにご登録のメールアドレス宛に連絡いたします。書類審査通過後、専門医試験のご案内をいたします。

受験料：30,000円 書類審査通過後に MyWeb よりお支払いください。

■9月末(予定) …専門医試験出願締切り

■11月12日(木) 15:00~16:30…学科試験(CBT方式)

■11月14日(土)…口頭試問(WEB)

時間は書類審査合格後、個々に設定して連絡いたします。

■12月中旬(予定) 試験結果通知

MyWebにご登録のメールアドレス宛に連絡いたします。

認定料：10,000円※認定医の同時取得希望の場合は20,000円。試験合格後に MyWeb よりお支払いください。認定証は MyWeb にご登録の希望の送付先にお送りいたします。

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

不明な点がある方は事務局へお気軽にお問合せください。正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください。

VIII. チェックリスト ※全て MyWeb よりアップロード※

申請の前に NCD のシステム(NCD-Person)より症例を提出してください。III.申請書類
⑤<症例の提出方法>参照。

	申請書名	提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	①乳腺外科専門 医救済措置新規 申請書	Excel のま ま	ngs_kyusai_申 請者名	シート①～③の必要箇所に入力し 提出してください。シート④以降は PDF で提出となりますが、削除せ ずそのままご提出ください。
<input type="checkbox"/>	②乳腺外科専門 医新規実績 目録			
<input type="checkbox"/>	③学術活動一覧			
<input type="checkbox"/>	④基幹・連携施設 /認定・関連施設 修練修了証明書	PDF(要病院 長印)	修練修了証明 書_申請者名	複数ある場合は続けてひとつの PDFにおまとめください。 ※非常勤の場合は常勤に準ずる旨 の勤務証明書も添付。
<input type="checkbox"/>	⑤乳癌症例の診療 経験目録 (NCD 登 録なし:2026 年 1 月以降の症例)	PDF (要指 導責任者署 名)	診療経験目録_ 申請者名	<u>2026 年 1 月以降の症例を提出する 場合のみ提出が必要。</u>
<input type="checkbox"/>	学術活動一覧の 添付書類 (論文・ 発表)	PDF	発表_申請者名 /論文_申請者 名	複数の業績がある場合、論文と発表 を分けて、それぞれ一つの PDF に おまとめください。
<input type="checkbox"/>	乳腺専門医・認定 医セミナー受講 証明書	PDF	受講証_申請者 名	2023 年以降 (2023 年 4 月 1 日以 降発行の受講証明書)
<input type="checkbox"/>	医師免許証	PDF	免許証_申請者 名	
<input type="checkbox"/>	臨床研修修了証 (2004 年以降医 師免許取得の場 合)	PDF	臨床研修修了 証_申請者名	
<input type="checkbox"/>	外科専門医認定 証	PDF	認定証_申請者 名	
<input type="checkbox"/>	顔写真	JPEG,JPG, PNG	写真_申請者名	面接の際の本人確認に使用いたし ます。3 ヶ月以内の無帽、正面向、 上半身写真、白黒・カラーどちらで も可。